

令和7年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻
一般入試・外国人留学生特別入試 入学者選抜学力検査問題

専門科目（特定課題型）

(150分)

〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は2枚からなっています。また、解答用紙は問題文中に指示されている解答用紙を使いなさい。この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
3. 使用するすべての解答用紙に受験番号を記入しなさい。
4. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

問題

お祝いの日を楽しく過ごすためのモノやコト（プロダクト、空間、グラフィック、サービスなど）のデザインを、自身の専門分野において提案してください。

対象とする日は法律で定められた祝日や、既にある慣習としてのお祝いの日その他、独自に設定したものでも構いません。

B4 解答用紙（ケイ線入り）にデザインコンセプトを記述しなさい。そして、B3 解答用紙 1 枚にデザイン案を描きなさい。

解答は、以下の〈条件〉に従い行うこと。

〈条件〉

1. B3 解答用紙には、A3 下書き用紙に作成した文章、スケッチ、図面、図解などを貼り込んでもよい。
2. B3 解答用紙は、縦、横どちらで使用してもよい。
3. B3 解答用紙は、受験番号が印刷されている方を裏面として使用しなさい。
4. 以下の貸与画材は、必ずしも全て使用する必要はない。

○配布用紙

- ・ B4 解答用紙（ケイ線入り）：1 枚
- ・ B3 解答用紙（白ケント紙）：1 枚
- ・ A3 下書き用紙：3 枚

○貸与画材

- ・ サインペン黒（中太）
- ・ サインペン黒（細）
- ・ 色鉛筆
- ・ 小型鉛筆削り
- ・ スティックのり
- ・ ハサミ

(以上)

令和7年度

京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科博士前期課程（修士課程）デザイン学専攻
一般入試・外国人留学生特別入試 入学者選抜学力検査問題

専門科目（論文型）

（150分）

〔注意事項〕

1. 監督者の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 次頁以降の選択問題1~4の中から1つの問題を選択し、解答しなさい。
3. 各選択問題の配点は同じです。
4. この問題冊子は3枚からなっています。また、解答用紙は4枚（けい線入り2枚、けい線なし2枚）、下書用紙は1枚あります。監督者から解答開始の合図があったら、この冊子、解答用紙、下書用紙を確認し、落丁・乱丁および印刷の不鮮明な箇所などがあれば、手をあげて監督者に知らせなさい。
5. けい線入り解答用紙と、けい線なしの解答用紙のどちらを使ってもかまいません。使用する解答用紙に受験番号を記入しなさい。
6. 選択した問題番号を、解答用紙解答欄上部左側に記入してから解答しなさい。
7. 試験後に、問題用紙、解答用紙、下書用紙など配布物は回収します。

選択問題 1 (デザイン分野)

以下の 1～2 の問いに答えなさい。

解答にあたっては、図、表などを用いてもかまわない。

問 1. ひと昔前には「卵は 1 日 1 個まで (それ以上は健康に悪影響を及ぼす)」と一般的に言われていたが、近年の医学的・栄養学的な知見に基づいて、現在では栄養豊富な食材として個数をあまり気にすることなく食する人が多くなってきている。

このように、一般的に知られている言説や常識と学術的な知見とにギャップが生まれる理由は、誤解の浸透、理解の不足、時代の変化、研究の進展、技術の普及など様々であるが、現在でもそのようなギャップは散見される。

- 1) あなたの専門分野における学術的な知見と一般に知られる常識とにギャップがある事例を一つ選んで解説しなさい。なお、学術的な知見について見解が分かれている場合や研究途上である場合にはそのことにも言及しなさい。
- 2) その解説を踏まえて、取り上げたギャップの是正に資すると期待される社会的または学術的な動向について、具体的な事例 (提案、施策、書籍、発信、製品等) を挙げながら述べなさい。

問 2. 住宅、公共施設、商業施設、宿泊施設、教育施設など様々な施設には、調理、洗面、入浴、排泄などの生活にかかわる“水回り”といわれる機能がある。水回りの空間、設備、製品、利用法等に関連して見られる新たな提案について取り上げて、その提案がもたらす価値についてあなたの考えを述べなさい。

選択問題 2 (ビジネス分野)

以下の問いに答えなさい。

経済発展に伴う産業構造の変化について第二次世界大戦後の日本経済の発展に沿って説明しなさい。

選択問題 3 (キュレーション分野)

以下の問いに答えなさい。

近年、博物館・美術館では、デジタル技術を活用したオンライン展示やバーチャル美術館の展開が進んでいます。これにより、物理的な制約を超えて多くの人々が美術作品にアクセスできるようになり、新たな鑑賞体験が提供されています。

この傾向について具体例や実体験を交えてあなたの意見を述べなさい。

選択問題 4 (テクノロジー分野)

以下の問いに答えなさい。

AI 技術はさまざまな分野で活用されていますが、その仕組みと影響を理解することが求められます。

- 1) 現在広く利用されている「ディープラーニング」の基本的な仕組みについて、ニューラルネットワークの構造に触れながら説明しなさい。
- 2) AI 技術の活用による社会的な課題の中から、「偏り」や「プライバシー問題」の具体例を1つ挙げなさい。
- 3) 2) で挙げた課題を解決するための工学的なアプローチを提案しなさい。

(以上)